

令和7年度

管理職のためのクライシス・コミュニケーション ～危機に直面したときの適切な情報発信～

自然災害や感染症等の危機発生時において、的確に情報を発信していくとともに、住民等に必要な行動をとるよう促し、被害を最小限に抑えていくことが重要です。

この研修では、危機管理における管理職の役割、日頃からの行政と住民等とのリスクコミュニケーションのあり方、説明のポイントやICTの活用法などについて理解を深め、管理職に求められる実践的な危機管理能力の向上を目指します。

* クライシス・コミュニケーション：マスコミへの情報開示を中心とした、事件・事故・災害発生時のコミュニケーション活動



演習では、危機発生時を想定した模擬記者会見に取り組みます。

開催要領

日 程

令和7年7月30日(水)～8月1日(金)(3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所

JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

市区町村等の部長級及び課長級の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

40人

募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修)

※外泊はできません。

経 費

11,750円

左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和7年6月19日(木)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932

[e-mail] kenshu@jjam.jp [ホームページ] https://www.jjam.jp

令和7年

7月
30日(水)

11:00~

入寮受付・昼食

12:30~

開講・オリエンテーション

13:00~15:35

講義 オールハザード・アプローチに基づく危機管理とリスクコミュニケーション

日本大学危機管理学部 学部長・教授 福田 充 氏

自然災害や感染症、戦争、紛争、テロ、ミサイルなどの有事等に関するリスクコミュニケーション、クライシス・コミュニケーションの基本的な考え方について、オールハザード・アプローチに基づいた危機管理学の観点から考察します。

15:50~17:00

質疑応答・意見交換

日本大学危機管理学部 学部長・教授 福田 充 氏

講義を振り返り、各自治体の現状などについて、質疑応答・意見交換を行います。

17:30~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:00~10:10

講義 危機管理下の情報発信

—マスコミ対応の在り方も含めて—

関西大学社会安全学部・社会安全研究科 教授 近藤 誠司 氏

テレビ局ディレクターとして長く災害報道や事件取材に携わられたご経験をもとに、危機発生時の適切なマスコミ対応のポイントや留意点等について、現場の視点を交えてお話しいたします。

10:25~12:00

事例紹介 自治体における危機発生時の情報発信

慶應義塾大学SFC研究所 上席所員 佐久間 信哉 氏

神戸市企画調整局 広報戦略部長兼広報官 多名部 重則 氏

コーディネーター:関西大学社会安全学部・社会安全研究科 教授 近藤 誠司 氏

管理職として、災害や事件などが発生した際の情報発信において気を付けるべきポイントや、特に大切にすべきことなどについて、お話しいたします。

13:00~17:00

講義・演習 自治体の危機管理~クライシス・コミュニケーションを中心として~
(講義とグループディスカッション)

有限会社エンカツ社 代表取締役社長／

横浜国立大学 非常勤講師／失敗学会 理事 宇於崎 裕美 氏

パワハラ、セクハラは某テレビ局の例を見るまでもなく、今や組織内の問題に留まらず社会問題として扱われます。ほかにも自然災害や個人情報漏えい、不正経理、学校でのいじめ等の問題においても、地方自治体の危機管理能力はマスコミやネットユーザーから厳しい目で評価されます。このような危機に直面した際、その被害を最小限に抑えるために「クライシス・コミュニケーション(情報開示を中心とした、事件・事故・災害発生時のコミュニケーション活動)」が重要です。そこで、本講義では危機管理の基本的な考え方と、リーダーとしての説明責任の果たし方を事例(成功事例と失敗事例)をもとに解説します。それに続く演習では、メディアトレーニングを実施。グループディスカッションを行い、模擬記者会見で使用する資料を作成していただきます。

9:00~14:10

講義・演習 自治体の危機管理~クライシス・コミュニケーションを中心として~
(実習—メディアトレーニング(模擬記者会見))

有限会社エンカツ社 代表取締役社長／

横浜国立大学 非常勤講師／失敗学会 理事 宇於崎 裕美 氏

グループごとに模擬記者会見で発表者役と記者役を体験。その後、講師による講評と質疑応答。さらに現場の問題や改善策について意見交換を行い、今後どのように業務に活かしていくか改めて考えていただきます。

14:10~14:40

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和7年

8月
1日(金)

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。